

02 地域 「決定的瞬間」の写真展

03 暮らし 凌駕IDÉA 長野進出

04-05 シニア 認知症予防に「乳和食」

記事・市外局番のない電話番号は0263地域です

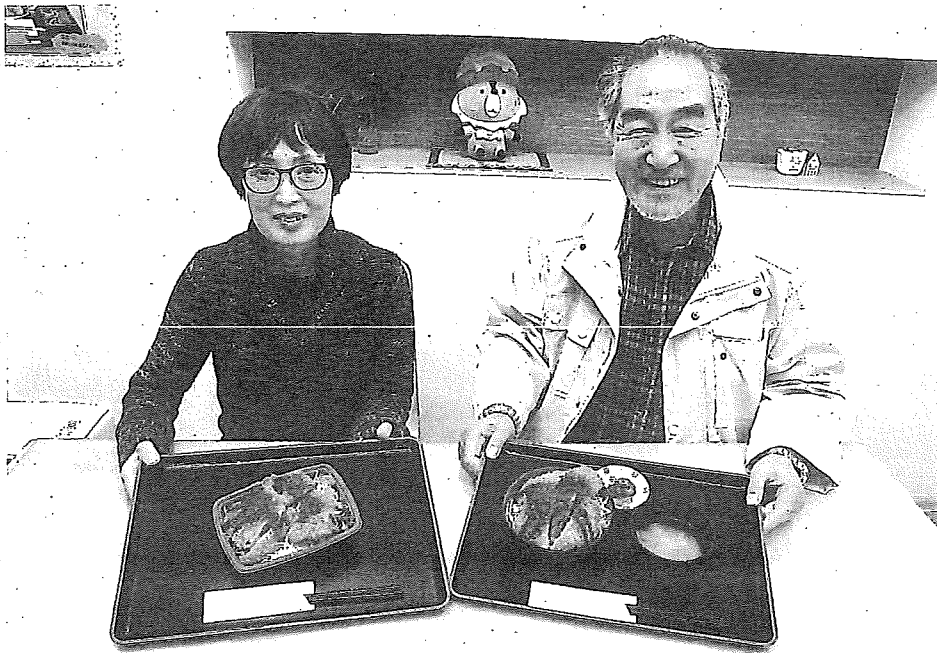
# M.G. プレス

Tue. 信州の真ん中から発信

松本市・塩尻市・安曇野市・大町市・東筑摩郡・北安曇郡・木曾郡

【お問い合わせ】 〒390-8585 松本市中央2-20-2 ●編集 ☎0263-32-1139(代) FAX0263-32-3388 ●広告 信濃毎日新聞松本本社 ☎0263-32-2860 MGプレス ☎0263-32-5539 FAX0263-32-5599

## 食堂「みよし」のソースカツ丼 大町市



「おうちごはんホッと」が味を継承  
約20年ぶりに復活

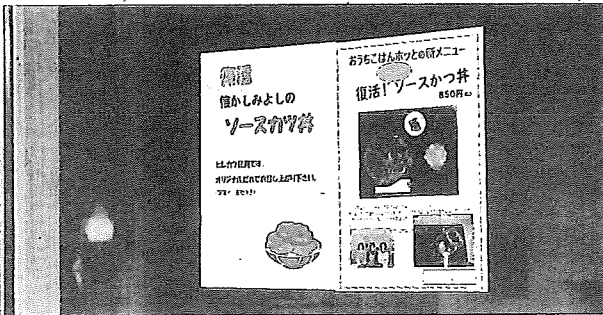
甘めで酸味とのバランスが絶妙なオリシナルソース、柔らかなヒレ肉……。今はなき食堂「みよし」（大町市大町）の人気メニューだったソースカツ丼の味が、約20年ぶりに復活した。懐かしさも手伝って、当時の味を知るファンらが、店内メニューと弁当を求めている。  
(青木尚美)

みよしは、合本正吉（故人）が戦後に開き、2001年まで約半世紀にわたり営業を続けたが、一代限りで店を閉じた。

当時の味付けを知る三男の章さん（70、同）によると、正さんは戦前に東京で働いていたころに食べ歩いた味の記憶を頼りにカツカツ定食などを作り、昭和50年代ごろからヒレ肉のソースカツ丼を提供し始めた。ソースカツ丼は手作りシユーマイと並び看板メニュー

で、出前や弁当にも対応。市外のファンも多かったという。常々、復活を望む声が寄せられ、味を継承してくれる店があればと考えていた章さん。今夏に北アルプス国際芸術祭を控え、まちの

みよしのソースカツ丼復活を知らせる店の掲示



「復活したソースカツ丼を手にする合本章さん（右）と、おうちごはんホッと」の店舗責任者の石丸明美さん

にぎわいにもつながる新メニューを考えていた食堂・配食サービス事業所「おうちごはんホッと」（同）の関係者と章さんが知り合っていた縁で、同店がみよしの味を受け継ぐことに。章さんが調理スタッフにレシピを直伝した。

「父の味が再現されうれしい。大町の懐かしい味が、まちおこしにつながればいい」と章さん。

午前11時半～午後2時。店内900円、弁当（要予約）910円。市内は5個以上で配達。同店 ☎0263-23-1595

カサネルハウス

組方次第でどんな敷地にも  
一人住みから大家族まで  
ワンフロアに対応できる  
住まいです

Atelier Earth work since 1997  
安曇野市穂高松原 715-2  
tel&fax:0263-87-1714